

第 167 回みよしグリーンサポート隊

1. 日時：2026 年 3 月 15 日（日）午前 9 時～11 時 30 分
2. 場所：全域
3. 参加者：27 名（役場 5 名）

刈込隊

3 月 4 日(水)5 名 全域

今月の定例会で植樹とシイタケホダギづくりを予定しているのですが、活動場所になる地区の安全確認と植樹箇所の確認。特段問題はなかった。シイタケのホダギは当日にシイタケ菌埋め込み用の穴を開けてもらい、そこに菌を埋め込んでもらう。30 本ほど準備した。植樹する箇所には竹柵を設置し、テープで目印をつけた。写真は植樹の場所を選定中。



定例活動日

当日、林町長がお見えになり、活動開始前にご挨拶をいただいた。長年にわたり活動を継続していること、2024 年に世界農業遺産に認定され、活動の平地林もその一端を担っていること、都市に近い世界農業遺産は国内では三芳町だけ、大変きれいに整備されていて感謝しているとのことのご挨拶があった。

植樹は全域にわたるために C、D 地区と私有林、清水林に分かれて実施。樹種はクヌギ、コナラなど、苗木に合わせて穴を掘って、苗木を置き、周辺に落ち葉を入れて土をかぶせて最後に水をたっぷりあげて終了。

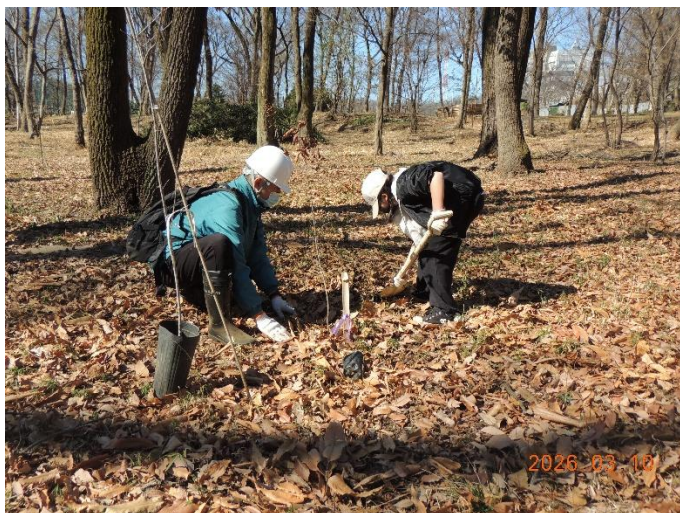
林町長のご挨拶



参加者の皆さん



親子で植樹



グループで植樹



植樹する穴を掘ってみると下には根が残っていて簡単に掘れないことがわかります。



植樹が終わった後にシイタケのホダギづくり。シイタケハンマーで穴を開けます。これが大変。
ドリルで穴開けするのとは大違いです。





用意した 30 本の植樹、29 本のホダギづくり、菌の埋め込みが予定時間通り終わりました。ダイダンで昨年作成したシイタケホダギから立派なシイタケができたという報告がありました、話を聞くと水を絶やさず、日陰に置いておくなど環境に配慮しないといけないようです。私たちのシイタケはいつになったらできるのでしょうか楽しみです。